

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成19年11月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.59

高千穂小学校 菜の花農業体験活動



苗の植え付け風景

高千穂土地改良区（田崎篤志理事長）が「21世紀土地改良区創造運動」の一環として平成16年から取り組んでいる、菜の花の植え付けの体験活動が今年も実施されました。

11月8日に高千穂小学校の5年生の児童63名が畑に苗の植え付けと、種まきを行いました。

全て手作業で植え付けを行うことで、子供達は農作業の大変さを体験し、農業への理解を深めていました。



記念にみんなでポーズ！



畑いっぱいにはらばって種まき！

西白杵型産直住宅伐採ツアーー2007 in 高千穂



伐採現場の迫りに皆さんビックリの様子

「西白杵型産直住宅」は、都会の消費者に山村の現状を理解してもらい、適正な価格で木材を取引する仕組みです。

この事業がスタートして3年目を迎えますが、今年は福岡県の(株)長崎材木店と高千穂町上野の甲斐好博さん、浩二さんが売買契約・森林管理協定を締結し、10月20日～21日に住宅建設予定者39名が伐採現場と(株)もくみの見学に訪れました。

参加者の皆さんは、初めて見る伐採作業や製材工場にとっても感激され、西白杵の大自然と林業家の山づくりに対する苦労や努力、知恵と工夫を知ってもらう良い機会になりました。

金属、化石資源と違って、木材には「使っても植林すれば資源として将来も存在する安心」があります。しかし、現実には資源の循環（造林や育林）に必要な資金が山村に還元されていません。消費者に対する積極的なアプローチが必要でしょう。

今、西白杵のスギは大きく成長しました。さあ、これからです！



高千穂スギの品質にもご満悦



子供たちは枝刈りに挑戦



甲斐好博さん、浩二さんと長崎社長

平成19年度西白杵郡障がい者スポーツ大会

11月9日に高千穂町総合運動公園で平成19年度西白杵郡障がい者スポーツ大会が開催されました。

大会には郡内から91名（高千穂町53名、日之影町16名、五ヶ瀬町22名）の身体障がい者及び知的障がい者が参加し、さわやかな秋空のもと、徒競走やアキュラシーなどの競技に汗を流しました。

この大会は、障がい者が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がい者に対する理解を深め、障がい者の自立と社会参加に寄与することを目的とし、西白杵郡障がい者スポーツ大会実行委員会（中川綱晶会長）の主催により、開催されています。



玉入れの様子



徒競走の様子



アキュラシーの様子

第14回JA高千穂地区女性部「家の光大会」

11月25日

JA高千穂地区女性部は、生活文化の向上を目的に毎年「家の光大会」を開催しており、今年では700人を超える参加がありました。大会では、体験発表や活動発表、記念講演等が行われ参加者は熱心に聞いていました。

また、ごはん料理・手作り作品コンクールの審査も行われ、3部門計86点の応募作品の中から各部門毎に優秀賞、アイデア賞、努力賞が選ばれました。

最後に大会スローガン「人・JA・地域 広めよう 共同の力 元気の輪」を確認し、盛況の内に終了しました。



活動発表では、6支部が日頃練習してきた踊りを発表し、好評でした。



会場では、ごはん料理・手作り作品コンクールの審査も行われました。

玄武山トンネル防災訓練

11月7日

国道325号玄武山トンネル内部で車が衝突、炎上したとの想定で西臼杵支庁、高千穂町、高千穂警察署の関係者約50人が参加、非常時の情報伝達訓練、救出訓練、消火訓練を実施しました。

トンネル内の非常電話から通報を受けた各機関が現場へ駆けつけ、けが人に見立てたダミー人形を救出するとともに、事故で混乱した現場の交通整理、関係機関への伝達を行いました。

トンネル内で事故がおきたら、落ち着いて、トンネル内に設置してある非常通報装置ですぐに110番、119番してください。



玄武山トンネルで行われた防災訓練の様子

宮崎県茶業振興大会

第23回宮崎県茶業振興大会が11月6日に、川南町文化ホールで開催されました。

県内の茶生産者を初め、関係者が集う本大会において、五ヶ瀬町が日頃の茶業振興活動を評価され、宮崎県茶業協会賞で優勝し、代表して小笠秀哉さんと坂本建吾さんに優勝旗と盾が授与されました。

また、長年の県内及び当地域の茶業振興への貢献に対し、茶業功労者賞が五ヶ瀬町の小笠一宇さんに贈られました。

親子揃っての登壇は、微笑ましく思われ、西臼杵地域に根付くお茶の歴史と力強さを改めて感じられた大会でした。関係者の皆様おめでとうございます。



優勝旗を受け取る小笠秀哉さんと坂本建吾さん



功労者賞を受賞する小笠一宇さん

市町村合併推進構想説明会

11月22日

西臼杵3町と県は市町村合併推進構想説明会を高千穂町自然休養村管理センターで開催しました。西臼杵3町の町長や住民が参加し、市町村合併の現状について理解を深めました。

愛媛県内子町の河内紘一町長が「中山間地における市町村合併の展望と課題」について講演しました。河内町長は町づくりの構想などを説明し、厳しい財政状況を考えると合併も有力な選択肢であると説明しました。

県合併支援室の坂本義広室長は、県市町村合併推進構想を説明しました。地方交付税の総額が減少していることや高齢化の進行といった課題について説明しました。



河内紘一愛媛県内子町長による講演

宮崎県男女共同参画功労知事表彰

11月7日

県いきいき女性アドバイザー高千穂天照（橋本美代子代表、9人）が県男女共同参画功労賞を受賞し、県庁で表彰式が開催されました。

高千穂天照は、県内各地で開催される講習会の受講や先進地視察などを行い、男女共同参画に係る情報の収集や研鑽に努め、高千穂町内で講演会や研修会を定期的に開催してきたことや男女共同参画に係る情報誌

を作成し配付するなどして、男女共同参画社会づくりに向けた町民の気運の醸成に大きく寄与した活動が認められたものです。



知事から賞状を受ける橋本美代子代表

「アップレ！みやざき米」新米ができました！

11月19日

西臼杵地区うまい米づくり研究会から高島支庁長にテレビCM等でお馴染みの「アップレ！みやざき米」の贈呈がありました。

本研究会は、西臼杵地区の「うまい米づくり」を目指す56名の水稻生産者からなり、定期的な研修会や会員独自の品評会の実施など、とても精力的に活動されています。こうした方々の手で栽培されたお米の中でも、特に上位等級のものが「アップレ！みやざき米」です。今年はお柄も良く、支庁長も味と香りを堪能しました。



支庁長への贈呈の様子
(贈呈者は馬崎宗之会長)

編集後記

夜神楽の季節がやってきました。西臼杵支庁に勤務するからには、一度は夜を徹して33番の神楽を楽しみたい。神楽は神事であり、地区ごとのシキタリがあるらしい。まずは、シキタリを勉強した上で、地区の方々とともに神遊びを楽しみたいと思います。近年はいろいろな事情で夜神楽が奉納できない地区もあるそうです。伝統を維持していくのは大変なことだと思いますが、地域の方々には頑張っていたきたいと思います。来月号は神楽特集だろうか・・・どうだろうか？ 博

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

平成19年度宮崎県たい肥共励会(県知事賞受賞)

県では、たい肥生産技術の向上と利用促進を図るため、毎年、たい肥共励会を実施しています。

今年は40点の出品があり、当地域からは栗山素幸さん（五ヶ瀬町：養豚農家）の豚ふんたい肥が、首席となる県知事賞、岩田照代さん（日之影町：肉用牛繁殖農家）の牛ふんたい肥が優良賞を受賞しました。

お二人とも良質なたい肥を生産するために、様々な努力や工夫を重ねられ、今回の荣誉に輝かれました。

当地域からの県知事賞受賞は初の快挙であり、この受賞を契機に地域のたい肥生産技術がより一層向上することが期待されます。



五ヶ瀬町 栗山素幸さんとご家族(県知事賞)



日之影町 岩田照代さん(優良賞)

「アイガモ米」、「古代黒米」新米ができました！

11月9日

日之影町アイガモ米生産組合と古代黒米生産事業組合から、高島支庁長に「アイガモ米」と「古代黒米」などの贈呈がありました。

「アイガモ米」は、水田に放されたアイガモが雑草や害虫を食べてくれることで、ほとんど農薬を使わないで栽培されています。また、役を終えたアイガモは「愛鴨カレー」に加工されています。

「古代黒米」は、日之影町の新たな特産品として生産されており、ぷちぷちとした食感と鮮やかな色、そしてお米本来の香りが特徴です。

そのほか「赤米」、「香り米」などの贈呈もあり、いずれも道の駅「青雲橋」などで販売されています。



支庁長への贈呈の様子
(贈呈者は坂本浩組合長)



手前のおにぎりはそれぞれ普通のお米に赤米(左)、黒米(右)を混ぜて作ったもの